



IIXIL

FIX窓(内押縁タイプ)

取付説明書

●取付けされる方に必ずお渡しください。掲載番号順に施工してください。

■守っていただきたいこと

▲注意…取付けを誤った場合、使用者などが中程度の傷害・軽傷を負う危険または物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

▲注意



- 本製品は、複層ガラスを使用するため、製品重量が最大150kgとなります。 枠の垂れ下り・ガラス落下のおそれがありますので、下記事項をお守りください。
- ・必ず指定のねじで枠を固定してください。
- ・必ず45×100mm以上の窓台(敷居)・30mm厚以上の間柱(ピッチ500mm以下)で開口部を作ってください。
- ・開口部を付け枠等でふかす(調整する)場合は、一体物と同じ強度になるよう取付けてください。

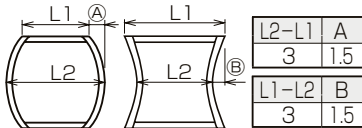


- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- ・本製品取付け後、サッシ枠と躯体の取合せ部に防水テープ(別売)を張ってください。防水テープと枠との納まりについては、防水テープ取扱説明書を参照してください。
- ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・浴室にご使用の場合は、必ず浴室防水部品セット(別売)を使用してください。

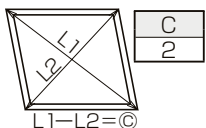
■取付上のお願

- 反り防止のため、樹脂面を直射日光に当てた状態で放置しないでください。
- 樹脂は割れたり傷ついたりしやすいため、ぶつけたりこすったりしないでください。
- 組立ての際は、樹脂面をハンマーで直接たたかないでください。樹脂が割れるおそれがあります。
- 躯体に固定する際に、サッシ枠が下記の寸法以下になっているかを確認して取付けてください。

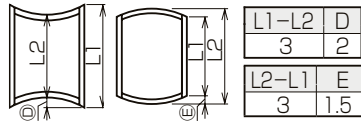
■サッシ枠のフレツツミ



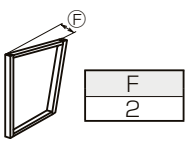
■サッシ枠対角差



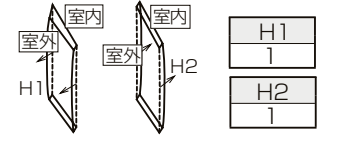
■サッシ上下枠の内反り・外反り



■サッシ枠のねじれ



■サッシ枠の室内外の反り



- テラス納まりの場合、床のフロアラインは必ず土台(下枠取付位置)から37±1mmにしてください。(204単純段差の場合は27±1mm)アングルと床にすき間ができたり、アングルが取付かないおそれがあります。

■取付ねじ・押縁一覧表

		押 縁	
①	②		
枠取付ねじ φ3.1×25 (低頭ねじ)	丸木ねじ φ3.5×25	上用／1本	縦用／2本

※下記内容は重要事項ですので必ず点検してください。

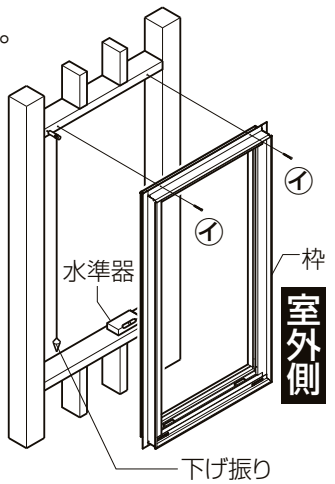
No.	チェック内容	
1	防水テープはピンホールを生じさせずに圧着しましたか？	☐
2	後付けビードのコーナー部には切れ目を入れて押込みましたか？	☐
3	後付けビードは余長を持たせて取付けましたか？(目安 1000mmあたり30mm)	☐



■取付順序

1 枠の仮止め

- 開口部の水平・垂直を確認し、枠を仮止めします。

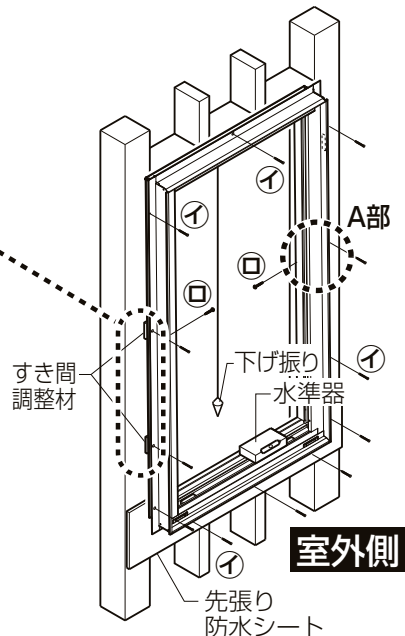
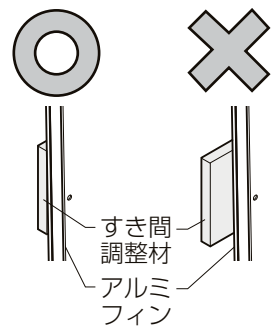


2 枠の調整と固定

- 下げ振り・水準器で枠のねじれ・倒れ・ゆがみを直した後、固定します。
- ※ねじを固定する際は、柱と縦枠および上下枠アルミフィンのすき間に必ず適切な厚さの調整材を入れてください。縦枠および上下枠が外側にこぼり、不具合が発生することがあります。

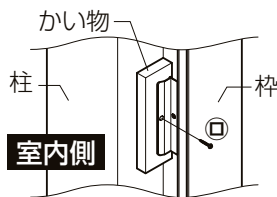
お願い

※アルミフィンから調整材がはみ出さないように注意してください。



■A部詳細図

※枠と縦枠のすき間には、必ず適切な厚さの木片などのかい物を入れ、木ねじを適切なトルクにて締め付けしてください。

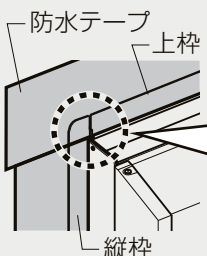


▲注意

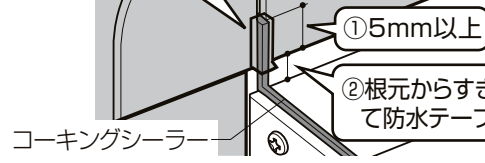


- 漏水防止のため、下記事項をお守りください。
- ・枠の水平・垂直を正確に出して取付けてください。
- ・本製品取付け後、枠と躯体の取合せ部に下記①～③に従って、防水テープ(別売)を張ってください。

- ①コーキングシーラーに5mm以上重ねる。
- ②根元からすき間を空ける。
- ③ピンホールを生じさせないように必ず圧着する。



③十分に強くこすりつけて、ピンホールが生じないようにする。



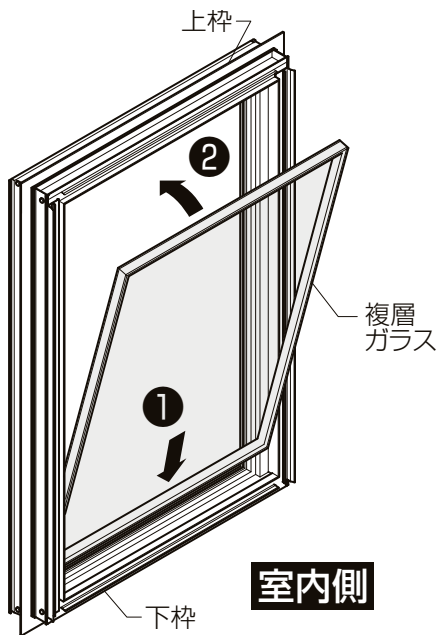
外観図

サッシ枠

■取付順序

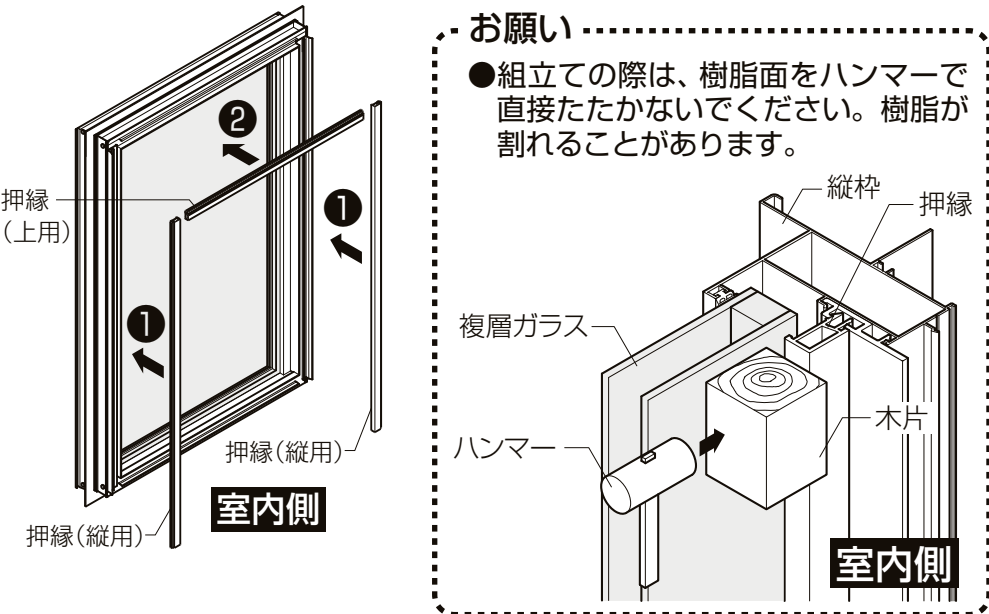
3 ガラスの建込み

- 下枠→上枠の順にガラスを室内側からはめ込みます。



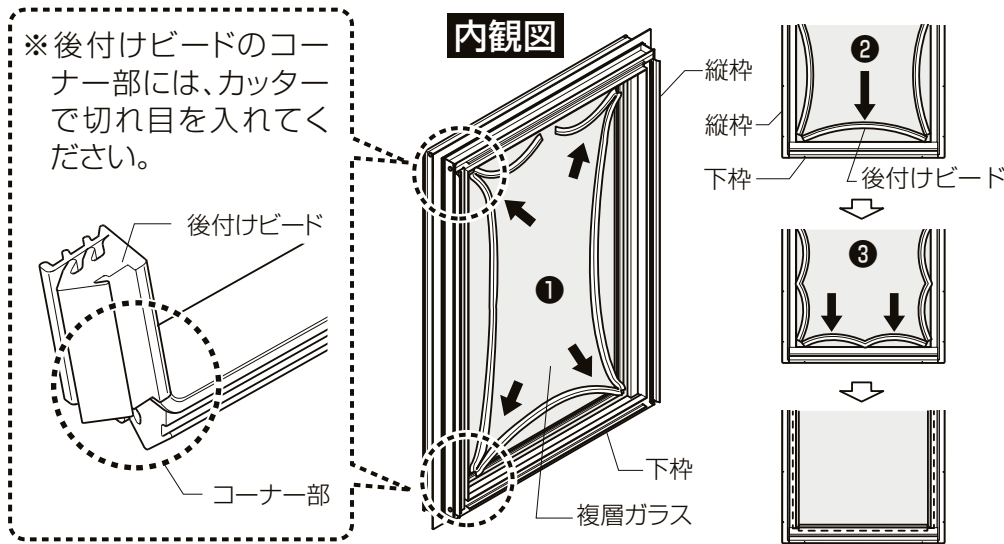
4 押縁の取付け

- 縦→上の順に押縁を入れます。
- ※押縁(縦用)は下を基準として、下→上の順に取付けるようにしてください。
- ※押縁に木片を当て、ハンマーでたたき込んでください。



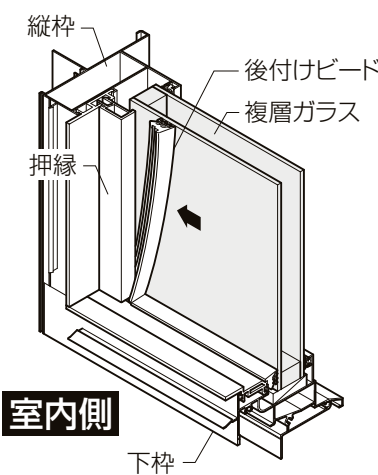
5 後付けビードの取付け

- 図の①のように余長を持たせて、四方に後付けビードをまわします。余長なく押込むとビードが収縮し、外れや雨漏りの原因となります。[後付けビードの余長の目安1000mmあたり30mm]
- 図の②③のように数カ所、均一にたわむように仮止めしてから押込みます。



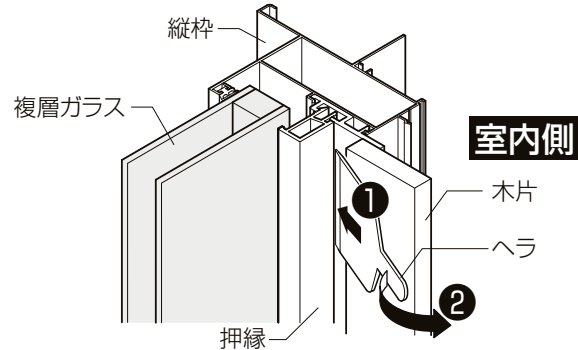
【ビードの押込みがきつい場合】

後付けビードを100mm程度に切断して上・縦の三方に入れ、押縁とガラスのクリアランスを確保してから押込んでください。



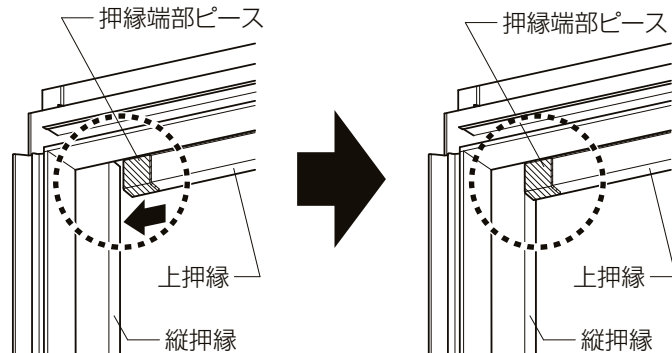
■ガラスの外し方

※ガラスを外す場合は、後付けビードを外した後、押縁を上→縦の順に外します。その際、押縁と上・縦枠の間に下図のようにヘラを突き当たるまで差込み、てこの原理を利用して押縁を外してください。押縁(縦用)を外す際はヘラと縦枠の間に木片を挟み、てこの原理で外すようにしてください。(樹脂に傷やへこみが付かないようにしてください。)

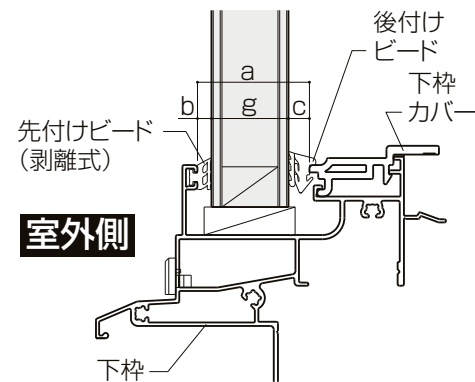


■押縁端部ピースの調整

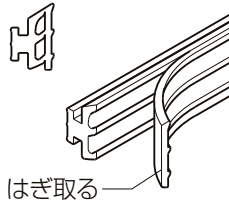
- W>780の場合、上押縁の両端に「押縁端部ピース」がついています。上押縁と縦押縁との間にすき間が発生する場合は端部ピースを両側に動かすことによりすき間を隠すことができます。



■ガラスビードの使用区分



■先付けビードの剥離方法



■PG (複層ガラス) a=32

ガラス厚(g) (mm)	ガラス構成	先付けビード(b)	後付けビード(c) (別売)
22	3-16-3	4	6
23	3-16-4	3 (剥離)	6
24	4-16-4 6-12-6	4	4
25	5-16-4	4	3
26	5-16-5	3 (剥離)	3